

平成 26 年 12 月 25 日  
独立行政法人福祉医療機構  
経営サポートセンター長 岐部 宏幸  
経営サポートセンター リサーチグループ  
グループリーダー 千葉 正展  
(電 話) 03-3438-9932  
(F A X) 03-3438-0371

## 平成 25 年度 社会福祉法人の経営状況について

独立行政法人福祉医療機構では、標記に関するリサーチレポートをとりまとめました。

なお、同レポートの内容は、機構ホームページ(<http://hp.wam.go.jp/tabid/1853/Default.aspx>)  
にも掲載しております。

### 1. レポートの概要

当機構では毎年、融資先のお客さまより決算書を提出いただいており、今般、平成 25 年度の社会福祉法人の決算について、新会計基準を採択している決算書(2,601 件)を対象に取りまとめ及び分析を行いました。

### 2. 平成 25 年度決算の概要

- 収支状況では、経常増減差額が人件費増加の影響もあり減少しています。経常増減差額比率は前年度比 1.6 ポイント低下の 4.0%となっています。
- 財務状況では、純資産が前年度比 3.6%減の 908 百万円、純資産比率は 0.6%低下の 75.2%となっています。
- 法人規模別の経営状況では、収益規模と黒字率はおおむね比例の傾向にあるものの、収益規模と利益率は比例しませんでした。なお、収益規模が小さいと安定性、収益性が相対的に低い結果となっています。
- 主たる事業別(介護保険事業、老人福祉事業、保育事業、障害福祉事業)の経営状況では、保育事業の人件費率が 72.3%と突出しており、人件費が設備投資や資金繰りに少なからず影響していると思われます。
- 経常増減差額の赤字・黒字別では、赤字法人は本業で収益をあげられず、その結果、人件費率が高くなり経営に影響していると思われます。

以上